

## 建設機械需要予測 (2021年8月)

## 1 概況

○2021年度は前年度の新型コロナウイルス感染拡大影響による需要減から大きく回復。

特に輸出が大きくけん引し、2021年度の出荷金額は、2兆2,182億円(前年度比15%増)と予測。

○2022年度は国内微増、輸出も堅調に推移し、全体では2年連続の増加と予測

2022年度の出荷金額は、2兆2,979億円(前年度比4%増)と予測。

## 2 国内・輸出別

## (1) 国内

○2021年度は、前年度の新型コロナウイルス感染拡大影響による需要減から回復し、上期計では、トラクタが前年同期比14%増加するなど6機種が増加もしくは横這いとなり、4,108億円(前年同期比4%増)と見込まれます。

下期も、8機種で増加もしくは横這いとなり、下期計では、4,731億円(前年同期比2%増)と予測しています。

この結果、2021年度合計では、8,839億円(前年度比3%増)となり2年ぶりに増加すると予測しています。(前回本年2月時の予測(99%)と比較して、4ポイント上方修正となりました。)

○2022年度は、安定した公共投資や民間設備投資の回復が予測され、上期計では、4,133億円(前年同期比1%増)

下期計では、4,778億円(前年同期比1%増)と予測しています。この結果、2022年度合計では、8,911億円(前年度比1%増)となり、2年連続の増加と予測しています。

## (2) 輸出

○2021年度は、国内と同様に新型コロナウイルス感染拡大影響による需要減から回復し、上期計では、主力機種である油圧ショベルが前年同期比39%増加するなど7機種が増加となり、5,828億円(前年同期比32%増)と見込まれます。

下期は、建設用クレーンも前年同期比36%増加するなど8機種で増加となり、下期計では、7,515億円(前年同期比18%増)と予測しています。この結果、2021年度合計では、1兆3,343億円(前年度比24%増)

となり、3年ぶりに増加すると予測しています。(前回本年2月時の予測(106%)と比較して、18ポイント上方修正となりました。)

○2022年度も、3大輸出先(北米、欧州、アジア)を中心に増加すると予測し、上期計では6,208億円(前年同期比7%増)、

下期計では7,860億円(前年同期比5%増)と予測しています。この結果、2022年度合計では、1兆4,068億円(前年度比5%増加)となり、2年連続の増加と予測しています。

## 【需要予測結果の概要】

		2021年度			2022年度		
		上期見込	下期予測	合計予測	上期予測	下期予測	合計予測
国内	金額(百万円)	410,800	473,100	883,900	413,300	477,800	891,100
	前年同期比(%)	104	102	103	101	101	101
	前回予測における前年同期比(%)	97	100	99	-	-	-
輸出	金額(百万円)	582,800	751,500	1,334,300	620,800	786,000	1,406,800
	前年同期比(%)	132	118	124	107	105	105
	前回予測における前年同期比(%)	107	104	106	-	-	-
合計	金額(百万円)	993,600	1,224,600	2,218,200	1,034,100	1,263,800	2,297,900
	前年同期比(%)	118	111	115	104	105	104
	前回予測における前年同期比(%)	103	102	102	-	-	-

注 補給部品は含みません。

本資料は、一般社団法人日本建設機械工業会(会長 数見 保暢)が、本年7月時点で正会員である建設機械メーカー62社を対象に実施した需要予測結果を取りまとめたものです。予測期間とした2021年度上下期と2022年度上下期の4期に関して、建設機械を9機種に区分し、国内出荷金額及び輸出金額をアンケート方式により予測調査をしたものであり、今回で60回目の調査となります。

## 建設機械需要予測

2021/8/26  
一般社団法人日本建設機械工業会

2021年度予測

上段：金額 百万円  
下段：対前年同期比指数 %

	上期見込			下期予測			年度予測		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計
トラクタ	48,700	65,200	113,900	71,700	92,100	163,800	120,400	157,300	277,700
	114	125	120	107	120	114	110	122	116
油圧ショベル	146,900	267,400	414,300	159,100	349,500	508,600	306,000	616,900	922,900
	106	139	125	101	117	111	103	126	117
ミニショベル	41,700	122,100	163,800	45,400	155,700	201,100	87,100	277,800	364,900
	102	130	121	100	116	112	101	122	116
建設用クレーン	81,600	29,300	110,900	90,100	28,700	118,800	171,700	58,000	229,700
	100	99	100	102	136	109	101	114	104
道路機械	19,600	12,000	31,600	23,600	15,900	39,500	43,200	27,900	71,100
	106	150	119	108	117	111	107	129	115
コンクリート機械	15,900	500	16,400	15,500	400	15,900	31,400	900	32,300
	99	103	99	101	104	101	100	115	100
基礎機械	15,300	2,300	17,600	17,400	2,200	19,600	32,700	4,500	37,200
	88	89	88	93	90	93	91	90	91
油圧ブレーカ	9,700	3,500	13,200	10,900	3,700	14,600	20,600	7,200	27,800
油圧圧砕機	107	118	109	108	114	110	107	116	109
その他建設機械	31,400	80,500	111,900	39,400	103,300	142,700	70,800	183,800	254,600
	98	135	122	100	122	115	99	127	118
合計	410,800	582,800	993,600	473,100	751,500	1,224,600	883,900	1,334,300	2,218,200
	104	132	118	102	118	111	103	124	115

## 建設機械需要予測

2021/8/26  
一般社団法人日本建設機械工業会

2022年度予測

上段：金額 百万円  
下段：対前年同期比指数 %

	上期予測			下期予測			年度予測		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計
トラクタ	49,200	65,200	114,400	73,900	92,100	166,000	123,100	157,300	280,400
	101	100	100	103	100	101	102	100	101
油圧ショベル	148,400	291,500	439,900	162,300	374,000	536,300	310,700	665,500	976,200
	101	109	106	102	107	105	102	108	106
ミニショベル	42,500	127,000	169,500	46,300	157,300	203,600	88,800	284,300	373,100
	102	104	103	102	101	101	102	102	102
建設用クレーン	81,600	33,100	114,700	89,200	30,100	119,300	170,800	63,200	234,000
	100	113	103	99	105	100	99	109	102
道路機械	19,400	13,400	32,800	23,400	17,800	41,200	42,800	31,200	74,000
	99	112	104	99	112	104	99	112	104
コンクリート機械	15,700	500	16,200	15,500	400	15,900	31,200	900	32,100
	99	98	99	100	98	100	99	100	99
基礎機械	14,100	2,000	16,100	15,700	2,000	17,700	29,800	4,000	33,800
	92	89	91	90	89	90	91	89	91
油圧ブレーカ	10,100	3,600	13,700	11,300	3,800	15,100	21,400	7,400	28,800
油圧圧砕機	104	104	104	104	104	103	104	103	104
その他建設機械	32,300	84,500	116,800	40,200	108,500	148,700	72,500	193,000	265,500
	103	105	104	102	105	104	102	105	104
合計	413,300	620,800	1,034,100	477,800	786,000	1,263,800	891,100	1,406,800	2,297,900
	101	107	104	101	105	103	101	105	104



# 一般社団法人 日本建設機械工業会 会長記者会見

2021(令和3)年8月26日

会長 数見 保暢

## 会長記者会見 次第

### ●記者会見

- |         |                  |             |
|---------|------------------|-------------|
| 1. 開 会  | : 浦島広報部会長        | 11:00       |
| 2. 報 告  | : 数見会長           | 11:05~11:30 |
|         | ・建設機械需要予測(出荷ベース) |             |
| 3. 質疑応答 |                  | 11:30~11:55 |
| 4. 閉 会  | : 浦島広報部会長        | 11:55       |

●次回(予定) : 2022年2月24日(木)

# 会長記者会見 目次

## 1. 2021、22年度の需要予測

### (本体出荷金額)

- (1) 年度比較
- (2) 半期比較
- (3) 機種別推移(補給部品を含む)
- (4) 国内・輸出別推移
  - 2007～2022年(年度)
  - 【参考数値】仕向先出荷金額
    - ① 構成比推移: 2007～2020年
    - ② 構成比推移: 2021年4-6月
    - ③ 2007年度を100とする指数の推移
- (5) 機種別生産・出荷見通し

## 2. 会員の見方

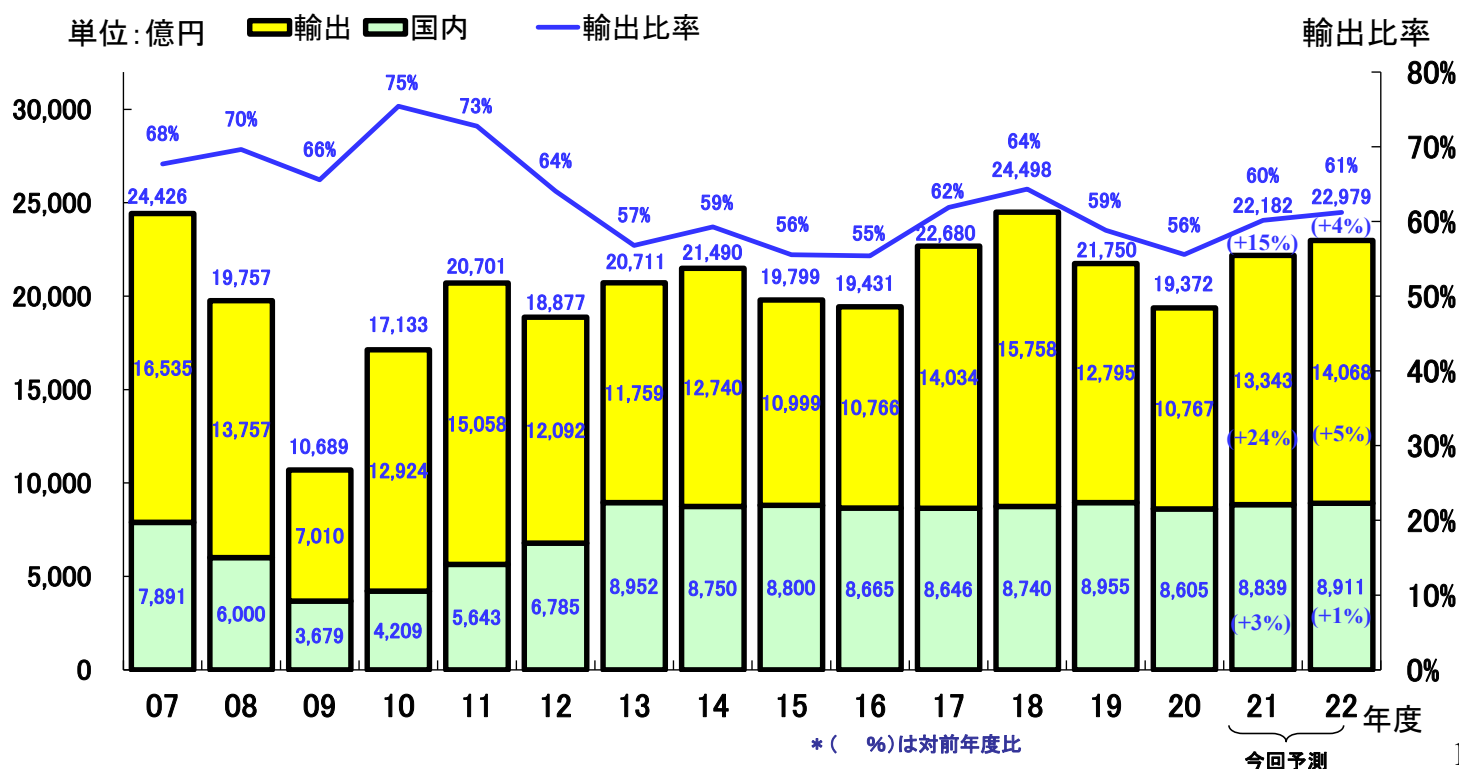
- (1) 国内需要予測の背景
  - ① 公共投資
  - ② 民間設備投資
  - ③ 住宅投資
- (2) 海外需要予測の背景
  - ① 北米市場の動向
  - ② 欧州市場の動向
  - ③ 中国を除くアジア市場動向  
(含むオセアニア)
  - ④ 中国市場の動向

## 1. 2021、22年度の需要予測(本体出荷金額)

### (1) 年度比較



21年度は新型コロナの需要減から大きく回復。22年度は国内微増、輸出堅調。

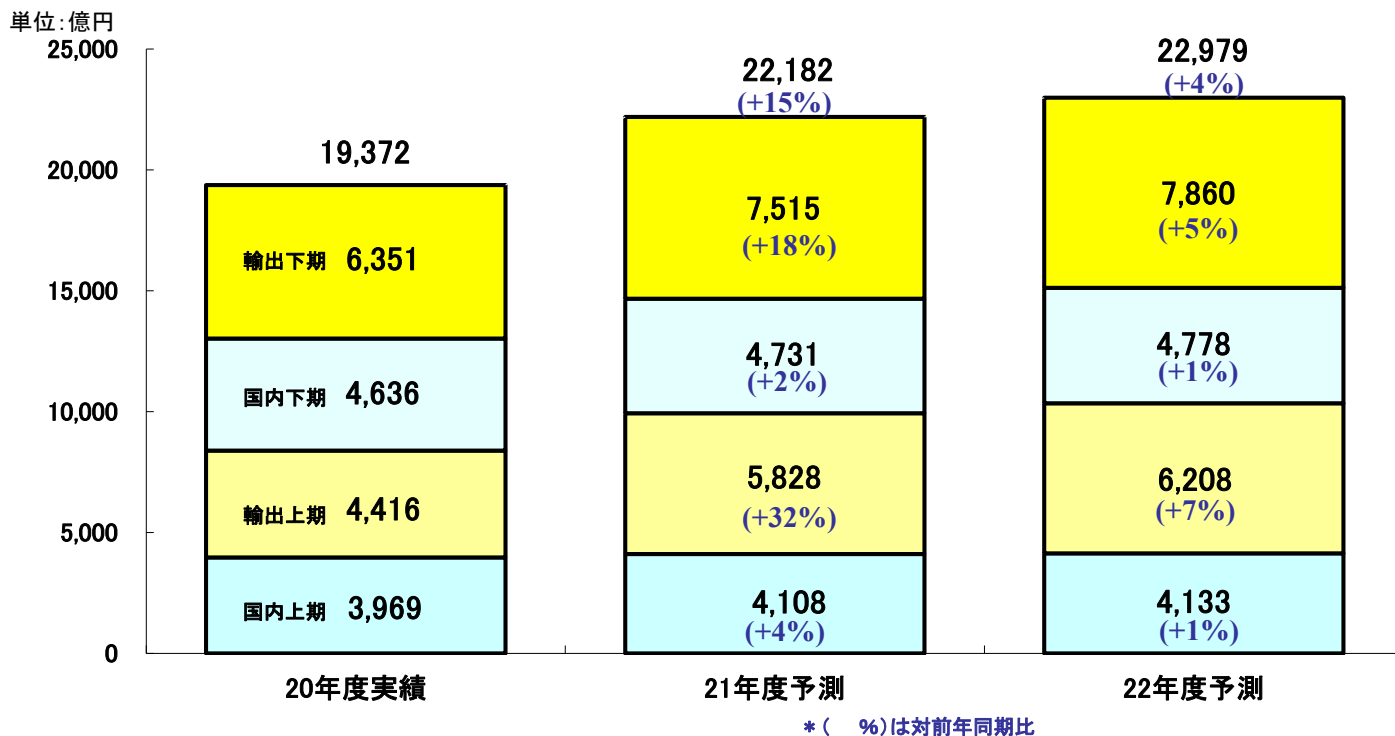


# 1. 2021、22年度の需要予測(本体出荷金額)

## (2) 半期比較



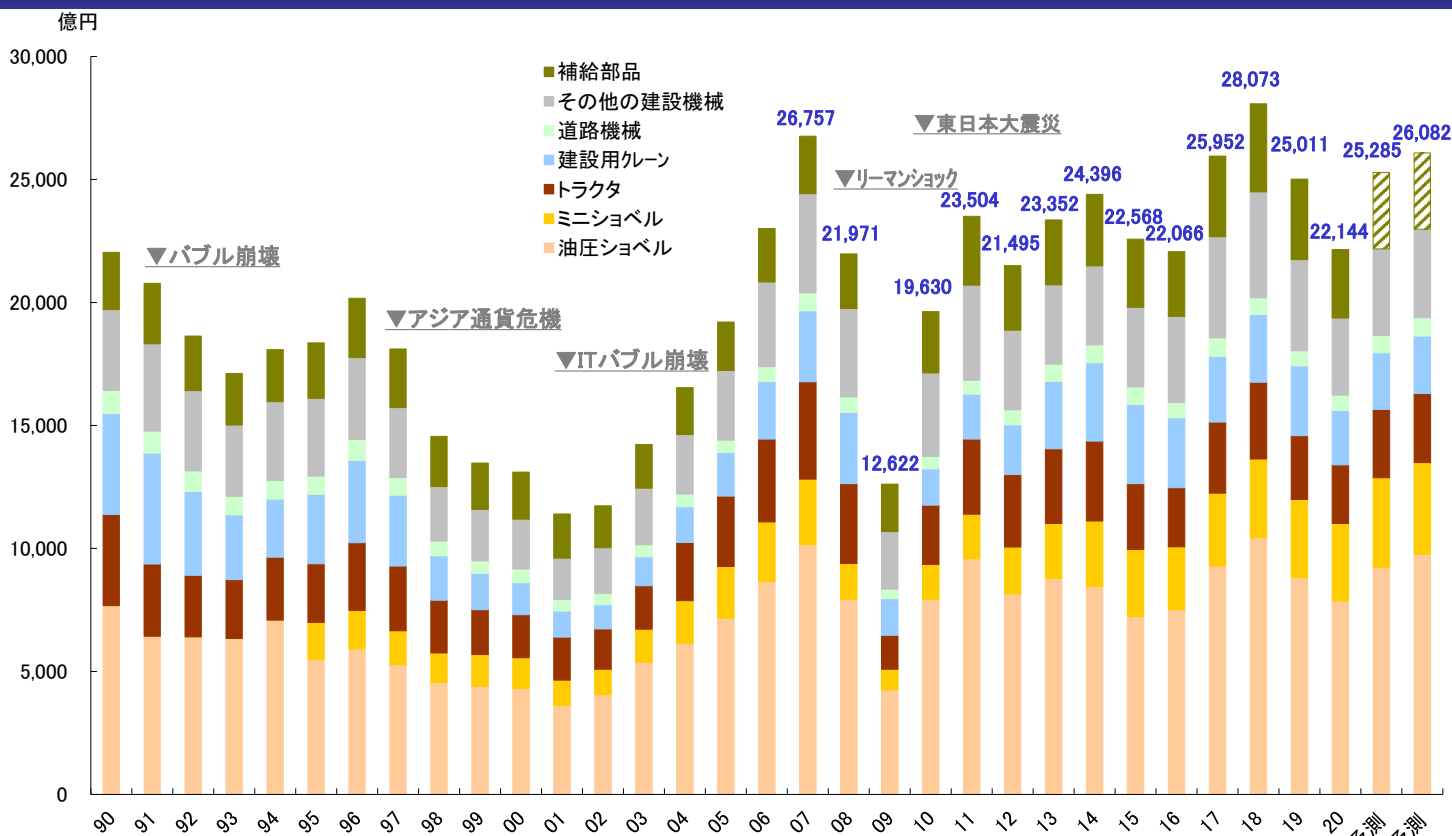
21年度は国内・輸出ともに増加。特に輸出は上期・下期とも大幅な伸び。  
22年度は国内微増、輸出は堅調。



# 1. 2021、22年度の需要予測(本体出荷金額)

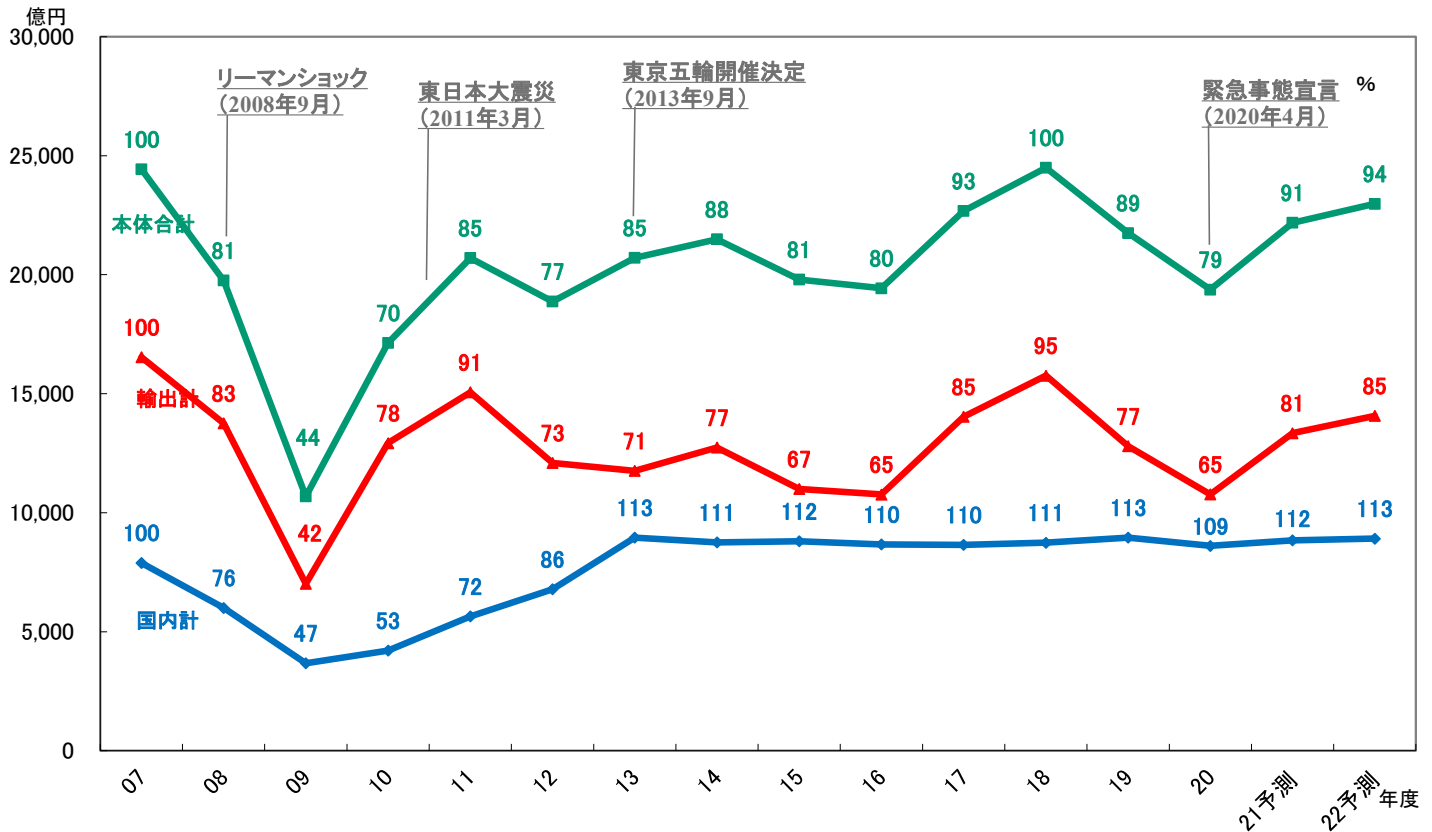
## (3) 機種別推移(補給部品を含む)

### 2022年度は直近ピークの2018年に次ぐ水準に



\* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額ベース。ただし、補給部品の21年度および22年度予測については、過去5年間の平均額(3,103億円)とする。  
出典: 建機工自主統計

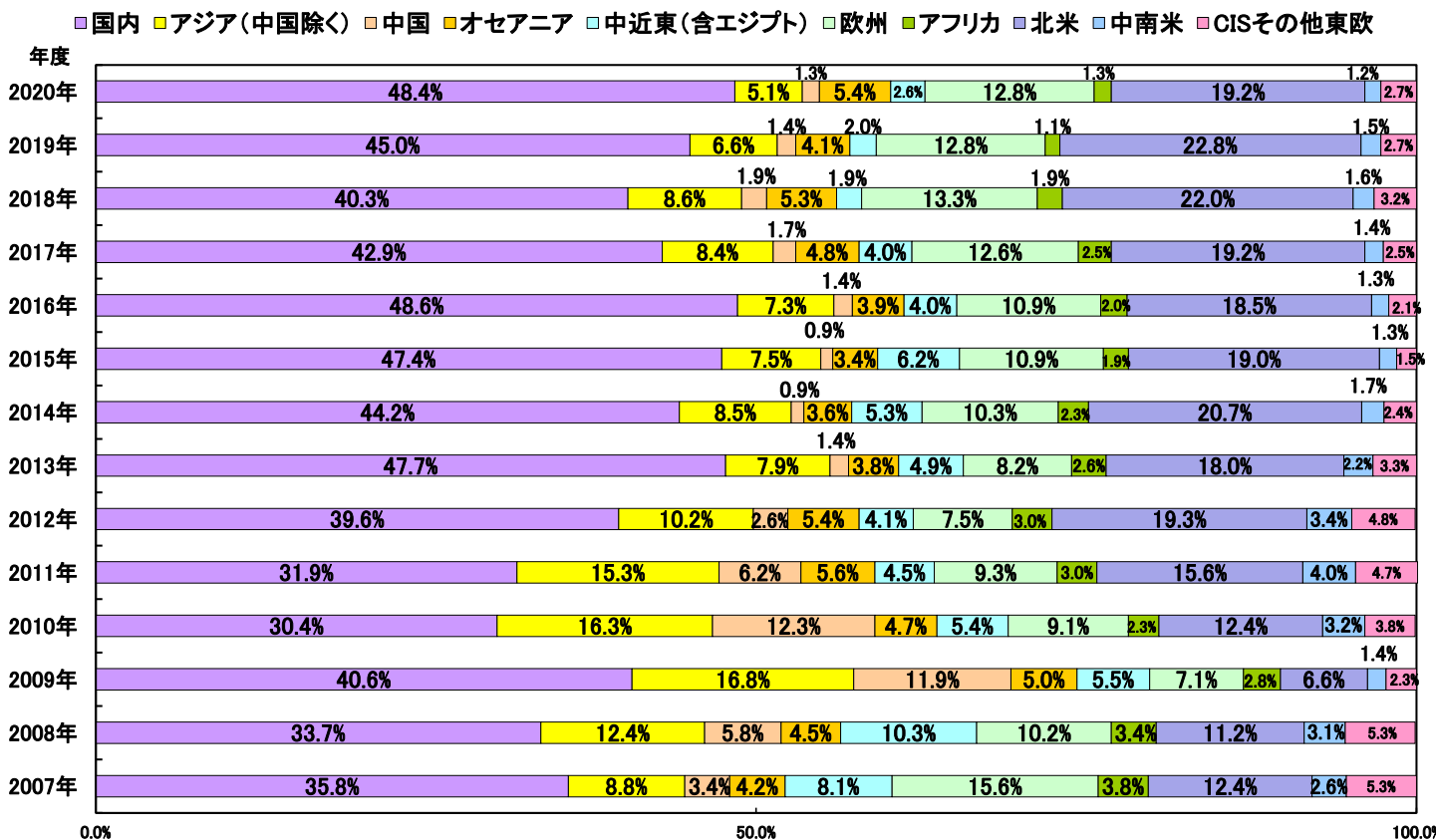
1. 2021、22年度の需要予測(本体出荷金額)  
 (4) 国内・輸出別推移 2007~2022年(年度)  
 国内は引き続き堅調、輸出も大幅に改善



\* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の指数(2007年出荷金額を100とする)  
 出典: 建機工自主統計

【参考数値】仕向先別出荷金額

① 構成比推移: 2007~2020年度



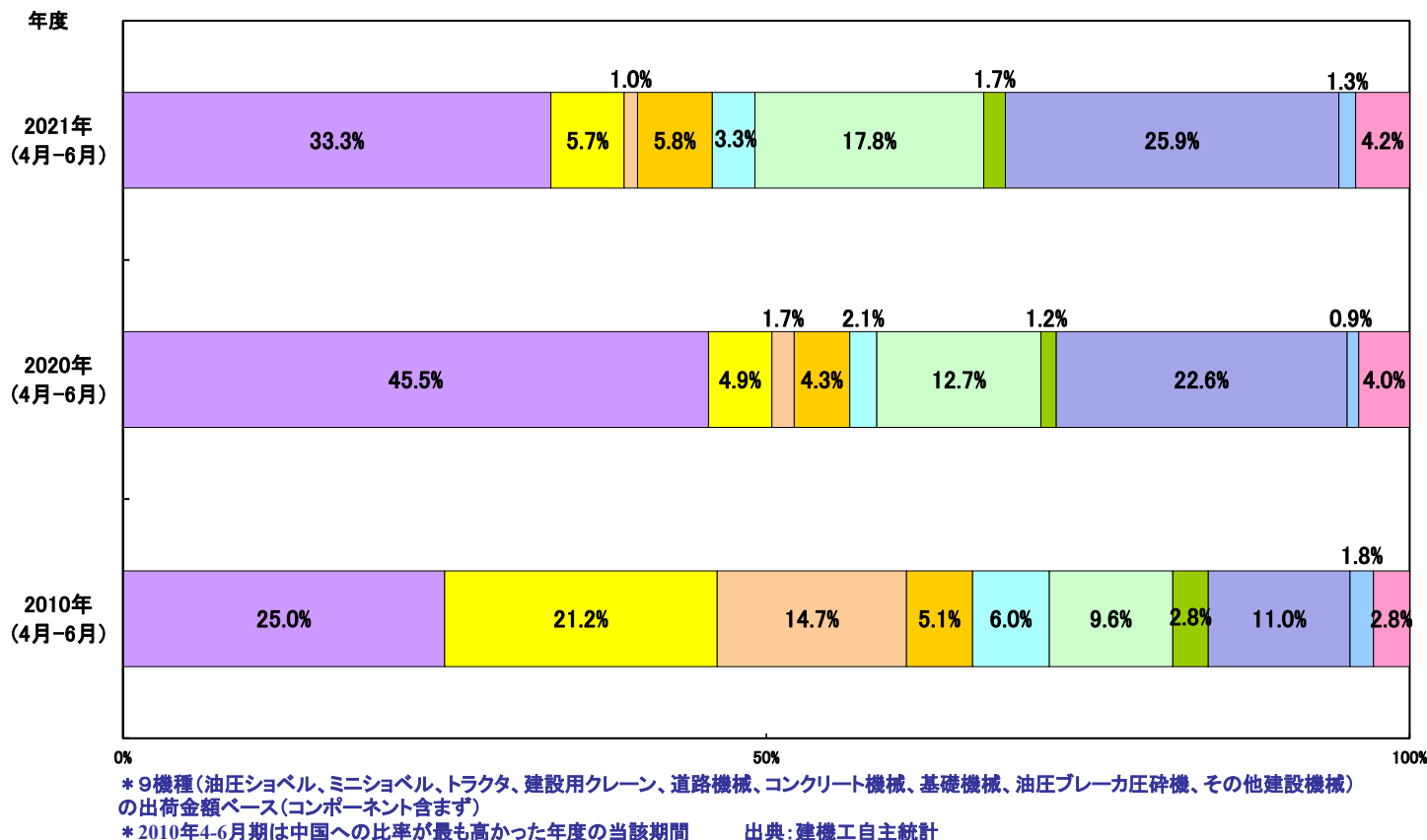
\* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額ベース(コンポーネント含まず)  
 出典: 建機工自主統計

## 【参考数値】仕向先別出荷金額

### ②構成比推移:2021年4月-6月

2020年度は国内比率高まるも、2021年度は3大輸出先(北米・欧州・アジア)の比率が大きく伸張

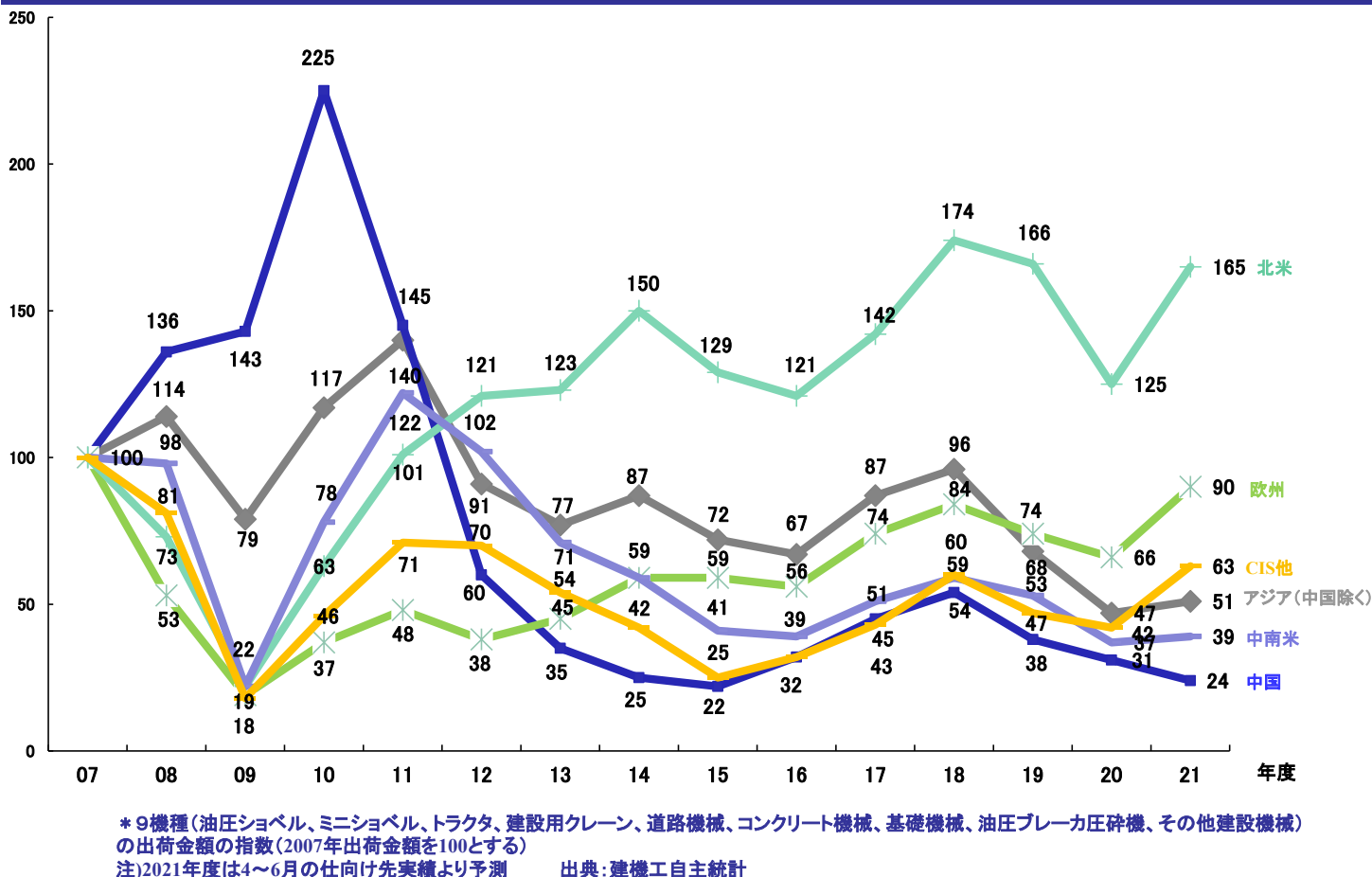
□国内 □アジア(中国除く) □中国 □オセアニア □中近東(含エジプト) □欧州 □アフリカ □北米 □中南米 □CISその他東欧



## 【参考数値】仕向先別出荷金額

### ③2007年度を100とする指数の推移

北米向けは堅調、中国向けはさらに減少へ

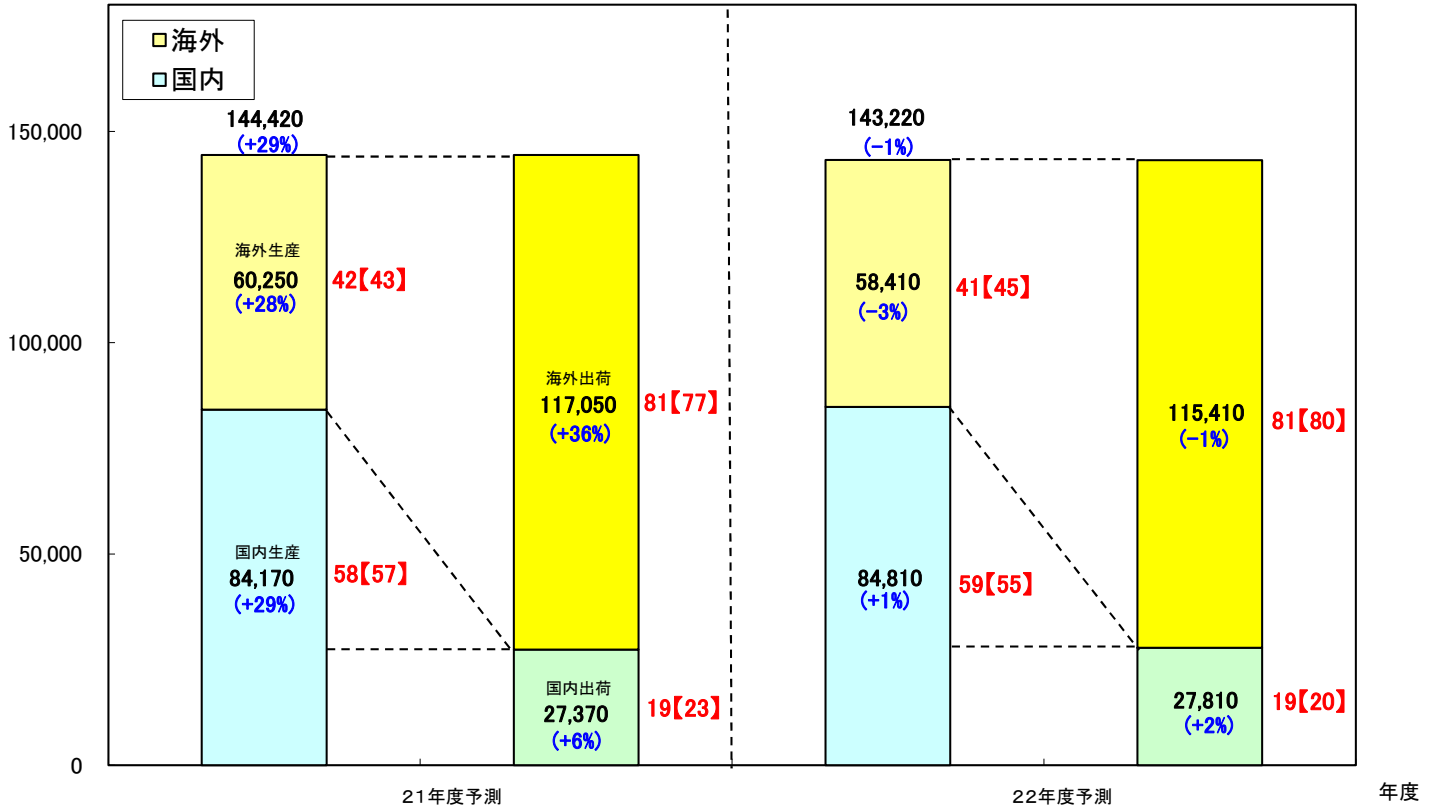




1. 2021、22年度の需要予測(本体出荷金額)  
 (5)機種別 生産・出荷見通し —①油圧ショベル  
 国内・海外ともに生産量は増加、海外出荷比率は8割を超える



台

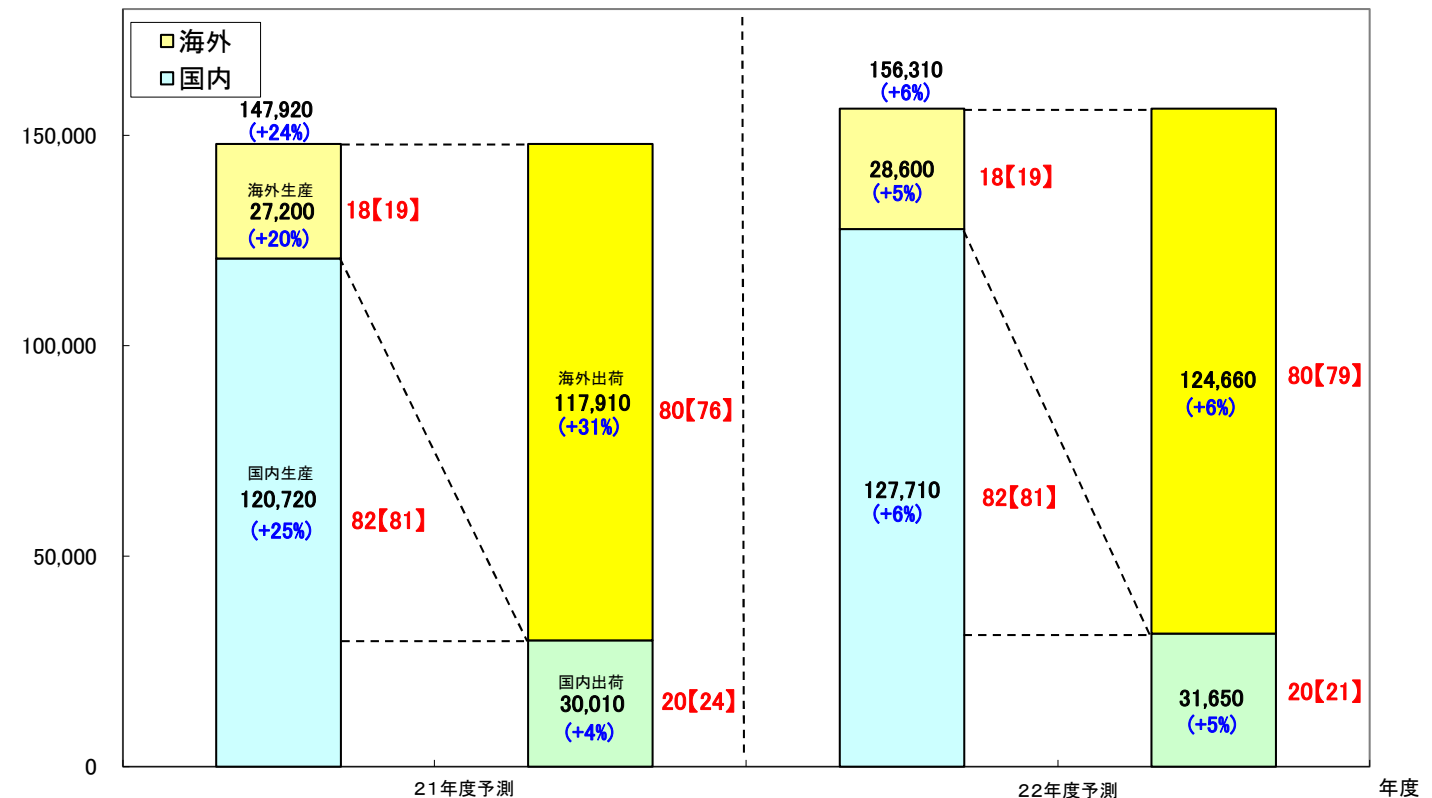


\* 油圧ショベルの生産台数ベース  
 \* 赤字は国内海外比率。【 】内は、2月時点の見通し値 ( )内は、前年度比。  
 出典:建機工調べ

1. 2021、22年度の需要予測(本体出荷金額)  
 (5)機種別 生産・出荷見通し —②ミニショベル  
 国内・海外ともに生産量は増加、海外出荷比率は8割を超える



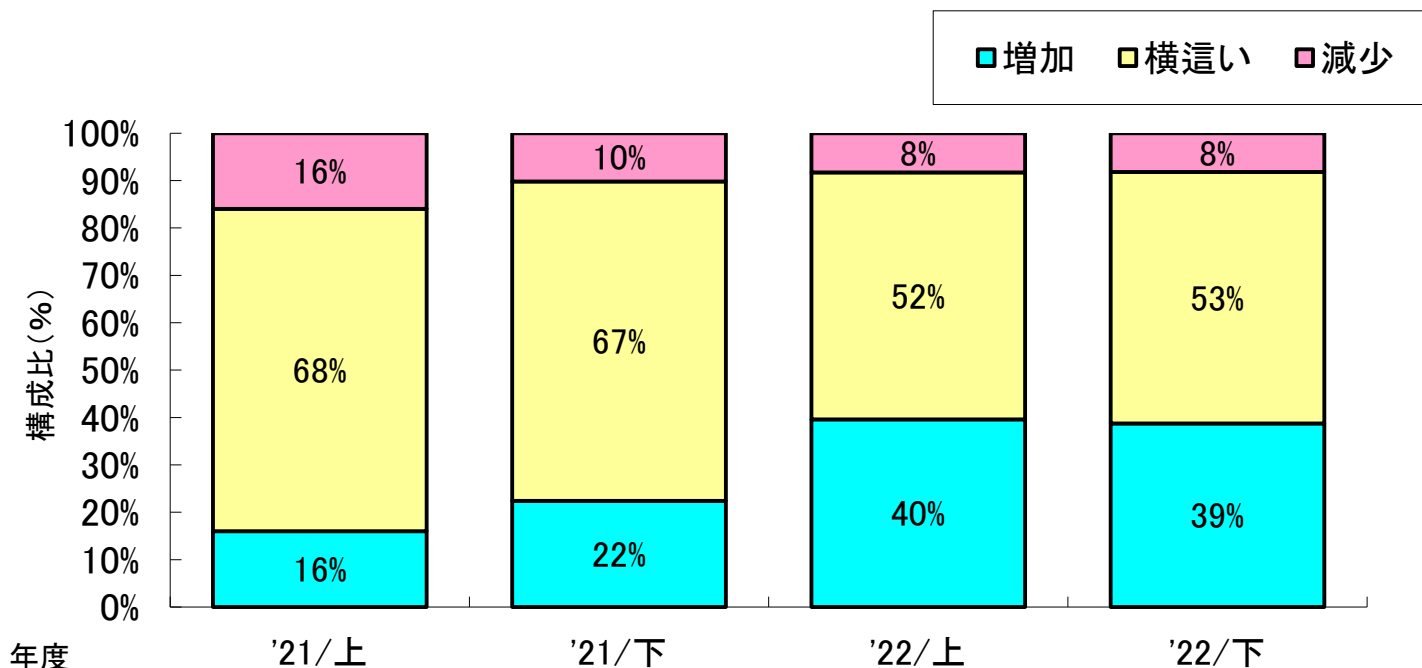
台



\* ミニショベルの生産台数ベース  
 \* 赤字は国内海外比率。【 】内は、2月時点の見通し値 ( )内は、前年度比。  
 出典:建機工調べ

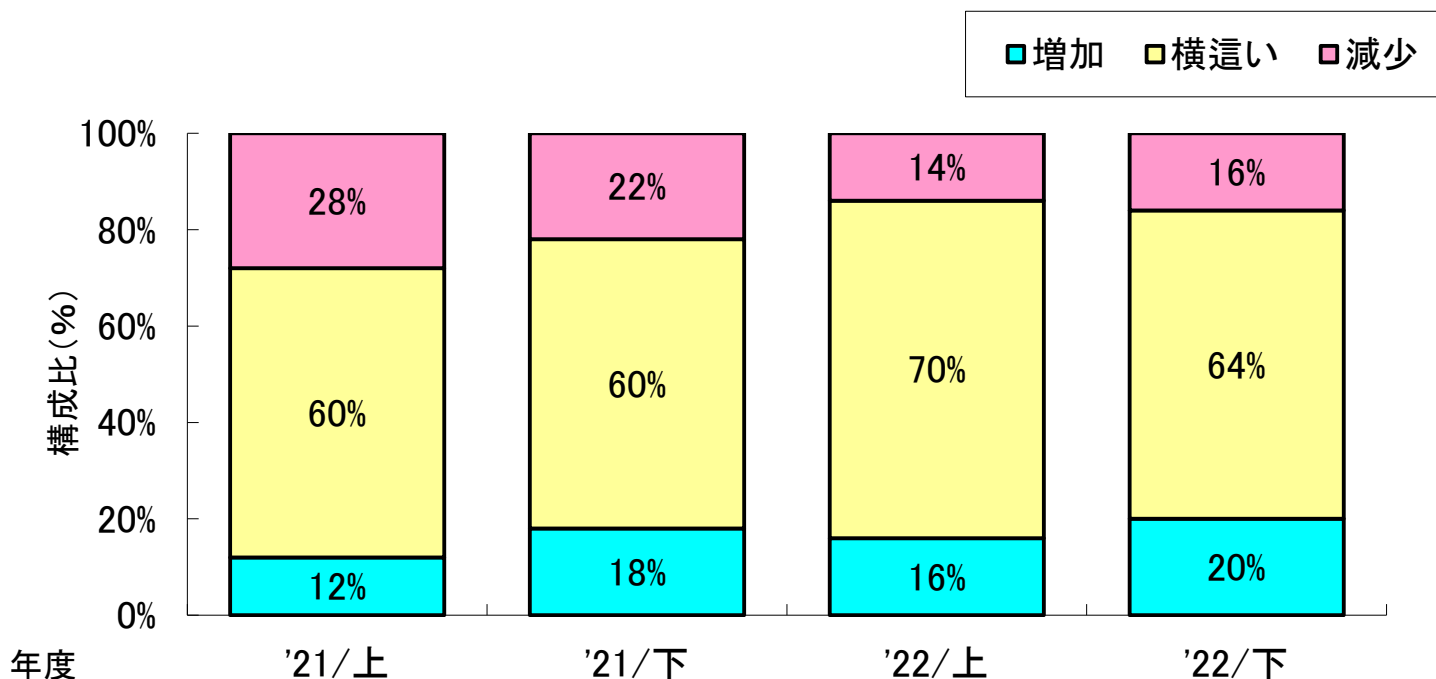
①公共投資

21年度は、横這い。22年度は、増加の見方が大きく増える。



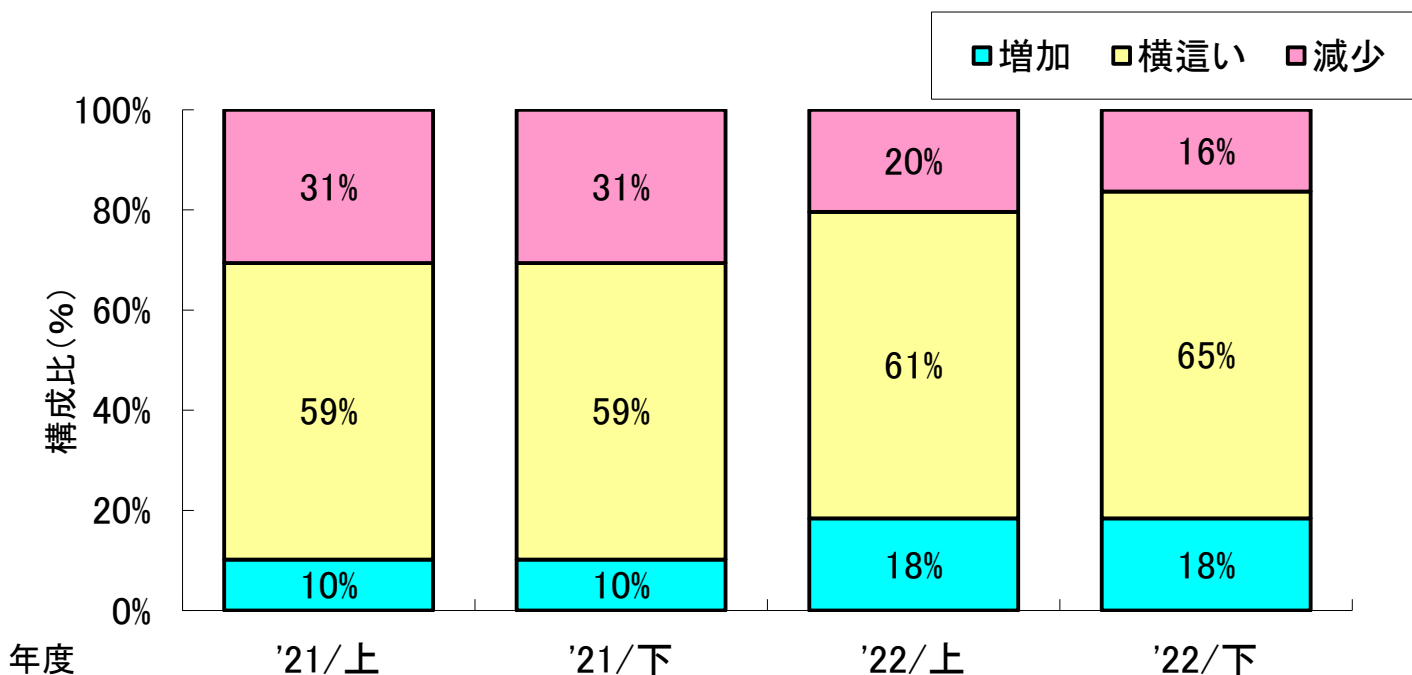
②民間設備投資

21年度、22年度を通して、横這いが大勢を占める。



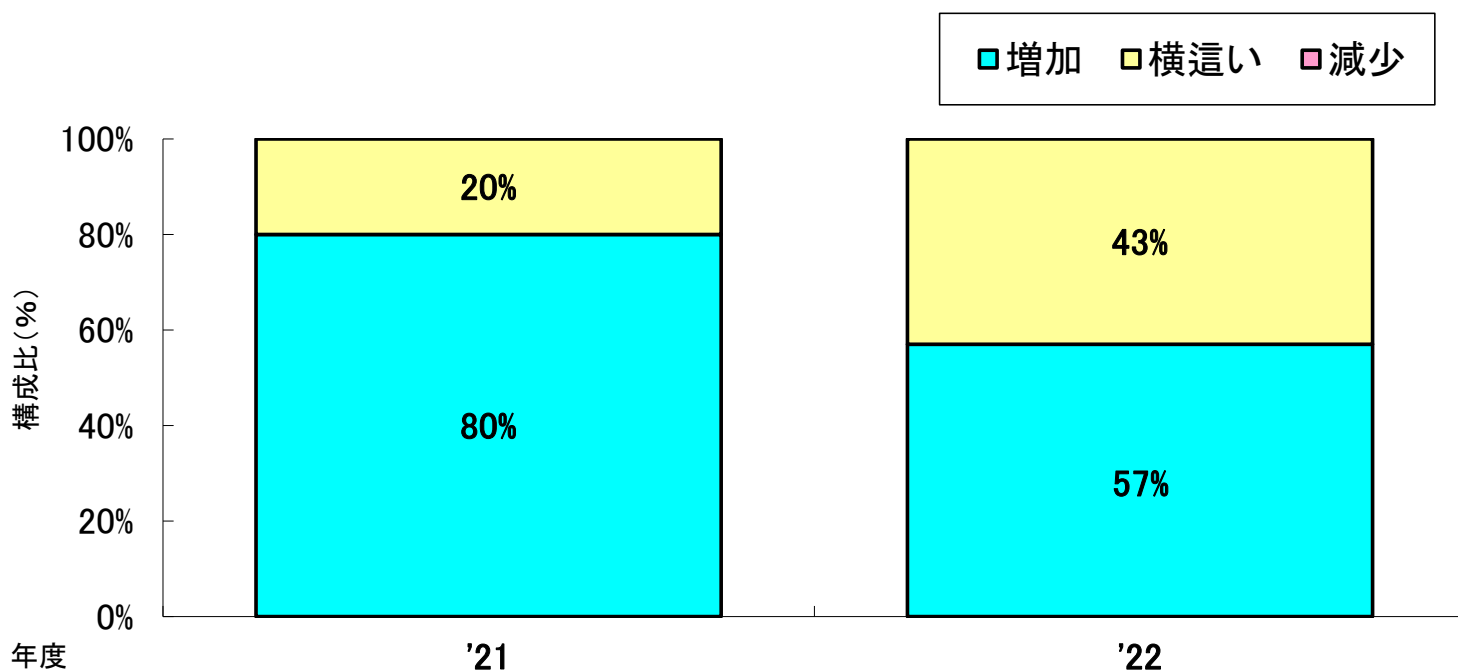
③ 住宅投資

21年度は、横這いが大勢を占める。22年度は、増加の見方が増える。



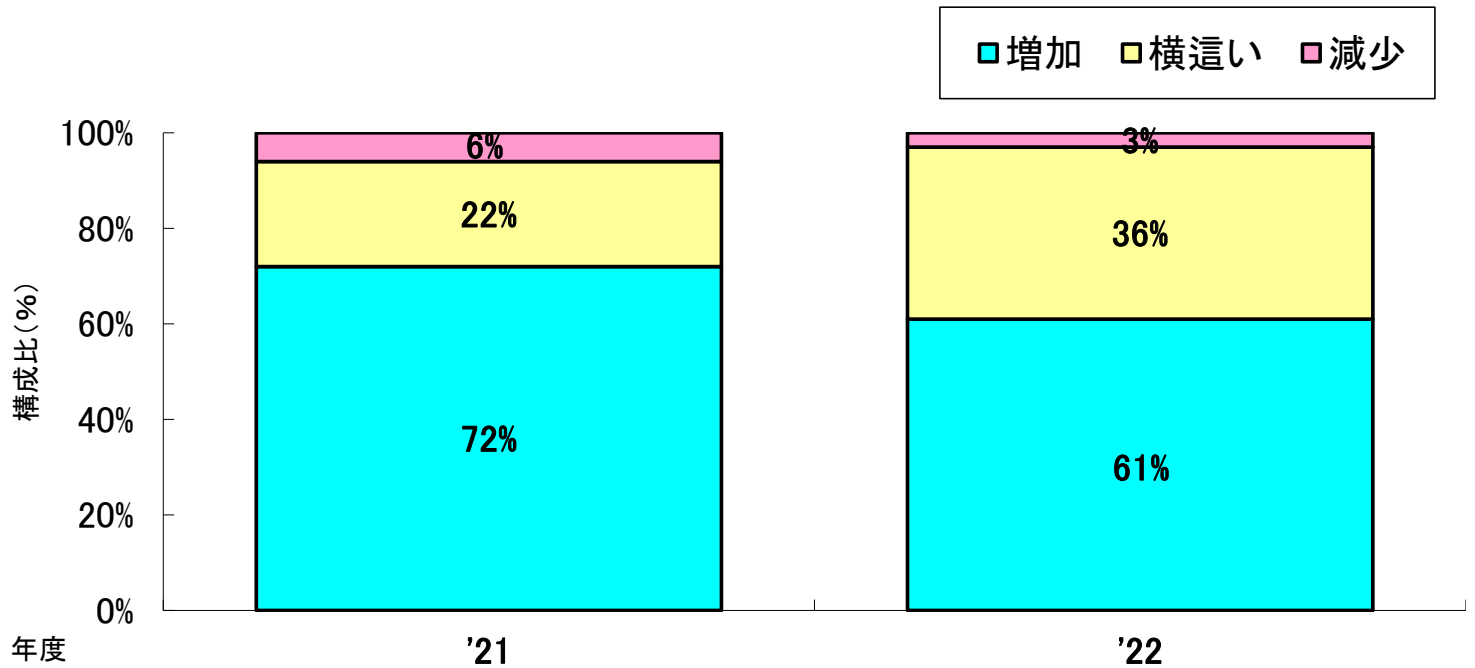
① 北米市場の動向

21年度、22年度通じて増加が大勢を占め、減少と見る会員なし。



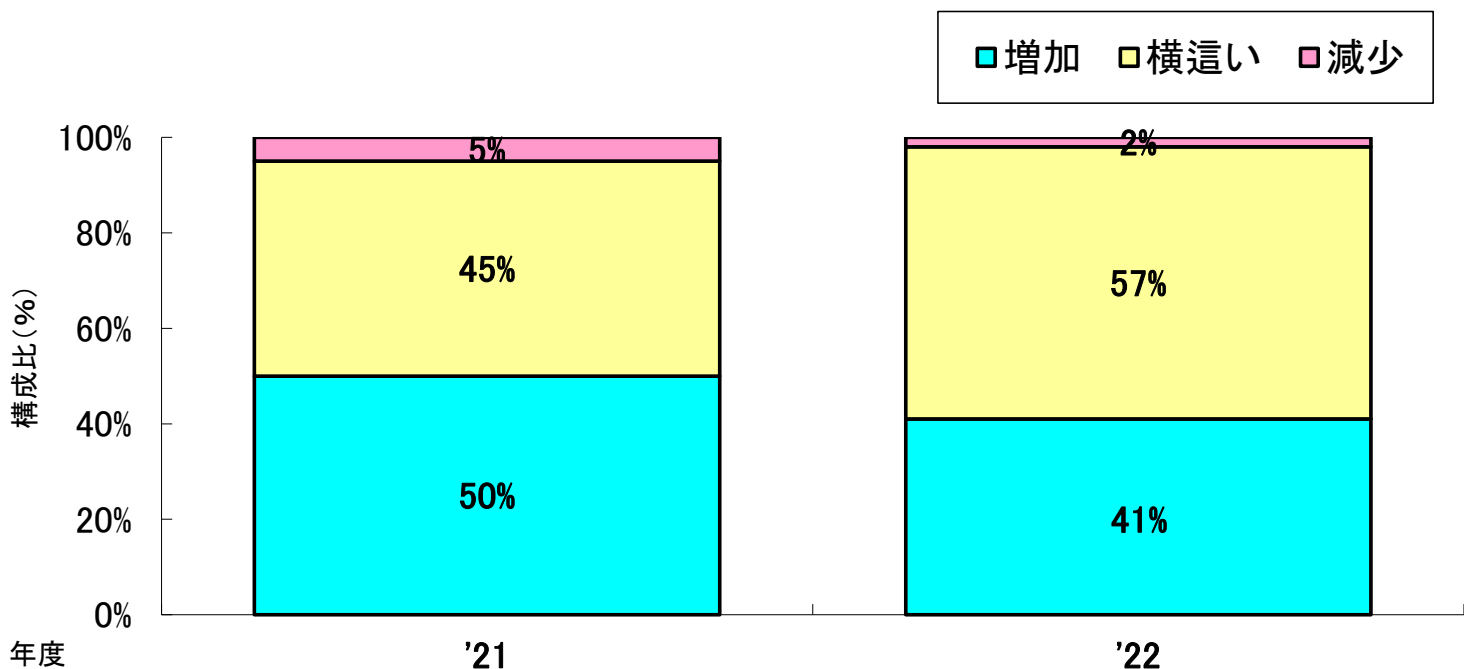
### ② 欧州市場の動向

21年度、22年度通じて増加が大勢を占める。



### ③ 中国を除くアジア市場の動向(含むオセアニア)

21年度は半数が増加の見方。22年度は横這いの見方が増える。



### ④ 中国市場の動向

21年度は大半が増加の見方。22年度は横這いの見方が増える。

